

紀南病院組合 紀南病院「平成28年度地域医療多職種総合研修プログラム」受講レポート

T.U様のレポート

I 総括

地域医療へ貢献すべく高い志をもつ医療のプロの方々との直接の触れ合いは、私の会計士人生（それ以上に人生そのもの）にとって、大変有意義な経験となりました。人生観を変える出来事でした。

今後、おそらくお世話になることが増えるであろう地方の中核病院、のひとつである「紀南病院」での、座学のみではなく、実際の治療、および関連業務の現場見学、実習をも含む当該研修は、今後、監査法人、税理士法人での自身の本来業務のバックグラウンドとして、より深度ある業務遂行に大いに役立つものと考えます。

監査現場への反映について

今後従事させていただく医療法人監査実施等の上で、「監査リスクの判断」と「手続作成・実施」、「様式3（クライアント及び業界の概況・特徴 要約調書）」の作成に不可欠なバックグラウンドを以前とは比べるべくもない高いレベルで身に着けることができたと思います。

なにより、業務実施の上大切な、クライアントとのコミュニケーションのために圧倒的に不足していた病院専門領域の経験を素人ながら体験できる絶好の機会に恵まれた幸運に感謝しております。

II 個別概論

病院の特徴

私見ではありますが、地域医療に根付いた、地方の総合病院だけあって、特徴として、急性期医療を維持しつつも、リハビリ機能の充実が感じられた。急性期、回復期、地域包括ケアとあらゆるプロセスでリハビリが想定された設備、スタッフの配置が特徴であり、今後我々がお付き合いさせていただくこと

になると予想される病院の代表格であると感じます。

そのような観点からも、PT、OT、STの実際の現場に立ち会わせていただくという画期的なプログラムは医療現場理解にとって大変貴重な体験であったと思います。

今後の病院経営の課題の鳥瞰

見学、ヒアリング、質問等のみからの感想であり（詳細な業務フロー・RCM等を確認できたわけではなく、さらなる深度ある詳細検討が必要なことを認識したうえで）その範囲限定ではあるが、以下の点が俯瞰された

スタッフが過剰労働で疲弊しきって「地域医療に大いに貢献するという当初の高い志」を忘れないで、より良い環境で医療に集中できるよう、その根源である病院運営を、良好継続するための方策を常に考えていくことが最重要課題であり、急務であると感じました。

そのために我々の貢献可能な点の一つとして、スタッフ・施設のシステムティックなアサイン・運用と、同時に各種加算金等をもシュミレーションでき、最大限のものを得る仕組みの構築（i t含む）などが求められると感じました。

研修概略

① 研修先

紀南病院組合紀南病院

② 研修期間

平成28年10月4日（火）～ 平成28年10月6日（木）

③ 研修詳細

	時 間	研 修 細 目	担 当	受 講 メ モ
一日目	9:00～11:00	オリエンテーション 院内見学	森本医師、 廣畑看護部長 仲事務部長 事務部、清水氏	
	11:00～12:00	医療安全、感染対策 室レクチャー	庄司看護師長	世間では病院の レピュテーションを地に落とす

				事件・事故を耳にすることが多い中、紀南病院をその点から守る重要機能であることを感じられました
	13:00～14:30	きなん苑（老健）	畑野副施設 辻原看護部長	ある意味地域の人々の健康を守る象徴的施設として欠くことのできない施設であり、田舎のお年寄りを孤独な日々の生活から解放できる基地的存在であり、今後高齢化社会が進んだ地域には、身近になくはない施設。とりわけ、ひとりで生活しているご老人を孤独と不健康から解放できる大切な場であると感じました。
	14:40～16:00	地域連携室・医療相談室レクチャー	金井医療ソーシャルワーカー	退院後の患者さんのあらゆる不安を払しょくすべく課された業務リストを拝見し、急性期、回復期、リハビリを得て無事復帰

				されるプロセスの後半の大きな役割であるということを感じました。
二日目	9:00～11:00	病棟看護体験	HCU の看護師の皆様	<p>HCU の比較的重症患者さんの、シーツ交換、おむつ替え立会、看護現場の悩み等のヒアリング →世間で言われているとおり、過酷な職場であることを、肌で感じることができました。</p> <p>我々の職種の見点からでも、待遇、環境改善に何か貢献できることはないだろうかと微力ながらも知恵を振り絞ることが、今後の課題と思いしらされました。</p>
	11:00～12:00	透析室		
	13:00～14:00	薬剤部レクチャー	中島薬剤部長	<p>薬剤の管理方法の詳細説明をいただき、管理方法の改善案、監査上の重要ポイ</p>

				ントピックアップのヒントをいただいた研修であり、公認会計士という立場から大いに感謝しております
	14:00～15:00	救急勉強会 (含AED使用方法 レクチャー)	森本医師	模型を使ってではあるが、森本医師直接指導で心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使用方のレクチャーを受けました。救助現場に遭遇したら、しり込みすることなく、率先して救助のリーダーを務める自信と気概を身につけたつもりです。恥ずかしながら、人生最終章近くで、人としてひとつ成長できたと思います
	15:00～16:00	回復期リハビリテーション病棟		
	16:00～17:00	僻地医療（神島医療 経験談）聴講	奥野医師	
三日目	9:00～12:00	pt, ot, st 体験		療法士の方々の患者を思いやり、不安な気持ちをほぐす、コ

				コミュニケーション能力と優しい気持ち、療法士さんの専門技術に加えて、病気を治す妙薬であろうと感じさせられました。
	13:00～15:00	浅里診療所（へき地体験）	森本医師	
	15:00～16:00	医療スタッフとの意見交換		

最後に

このような有意義な研修の機会をつくっていただいた、紀南病院の、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護士、スタッフはじめ当病院すべての志高き皆様、修了証書まで準備して下された須崎院長先生に、大いに感謝して結語としたいと存じます。

今後、皆様が、地域医療に貢献するという高い志を全うできるよう、異職種に身を置く我々ではありますが、会計、監査、経営コンサルタントという裏方からではありますが、微力ながら協力させていただくことで、この研修の御恩に報いたいと存じます。

以 上